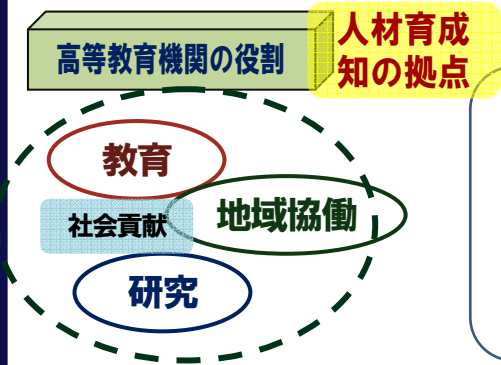


# 長野県高等教育振興基本方針(平成28年5月策定)

## 《策定の趣旨》



## 社会の変化への対応

- ア 知識基盤社会への移行と長野県の競争力の確保**
- ・新しい知識・情報・技術が飛躍的に重要性を増す社会
  - ・高等教育機関が先進技術に係る研究開発と人材の育成を行うとともに
- 「マイスター」と呼ばれる優れた技術者の養成にも寄与
- イ 人口減少社会への対応**
- ・経験したことのない少子・高齢化の中での
  - ・長野県での学び、働く場の創造
  - ・労働生産性の向上
- ※「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」

信州創生

高等教育機関は不可欠

## 少子化の中で積極的な高等教育振興を図る

### 長野県の高等教育の課題

- ① 大学進学者の県外流出率が高い  
流出率 82.6% (全国6位)
- ② 大学の収容力が全国最低水準  
収容力 16.3% (全国45位)
- ③ 私立高等教育機関の定員割れが顕著  
(入学定員充足率) ・私立大学 98.0%  
・私立短期大学 83.8%  
・私立専門学校 55.4%

### 大学進学率

長野県 42.9% (全国28位) < 全国 51.5%  
→ 今後更に上昇する見込み

大学進学者増と少子化・18歳人口減少との整合性

### 県外流出率

長野県 82.6% (全国6位) > 全国 55.0%  
→ 一部を留めれば県内進学者増へ

### 県内高校生の進学希望地域

県内への進学希望 25.6% > 現状 17.4%  
→ 県内大学の選択肢が増えれば県内進学者増へ

高校生など学ぶ側の視点から

県内大学収容力  
三つの伸びしろ

## 高等教育振興のための基本的方策

### 方策1

#### 高等教育の魅力向上

##### 大学改革を積極支援

- ・改革・魅力向上に取り組む県内大学を支援
- 各大学の改革の方向性に沿ってオーダーメイドの支援
- ◇ 学部・学科の再編等による教育の向上
- ◇ カリキュラムの充実等

##### 大学・学部・大学院の新設支援

- ・既存の県内大学にない学部や大学院の設置を支援
- ◇ 大都市圏から学生を呼べるような特色づくり(全国トップレベルの教育・研究等)
- ◇ 地域づくりへの貢献、地域への人口定着・交流人口の増加
- ◇ 高い活用力、応用力を持った産業人材の育成

##### 専門学校の機能強化を支援

- ・実践的な職業教育を行う機関としての役割強化を促進
- ◇ 「職業実践専門課程」の認定拡大
- ◇ 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関設置の支援の検討

### 実施体制

信州産学官ひとづくり  
コンソーシアム

連携

信州高等教育支援センター

平成28年4月1日設置

連携

高等教育  
コンソーシアム信州

### 方策4

高校生等への発信

県内高等教育機関  
の魅力の発信

長野県で「暮らす」「働く」魅力発信  
→ 長野県の良さを併せて発信

◇ 人材育成の充実  
◇ 知の拠点機能の向上  
↳ 県内進学者拡大 → 人材定着

### 方策2

#### 大学間連携

##### 県内大学の連携促進

- ・相互連携により社会の変化に対応した教育・研究活動の充実を促進

##### 県外大学との交流の促進

- 県外大学の知の活用に向けて調整
- 教育・研究のフィールドワークの場の提供
- 県内大学との単位互換の促進

### 方策3

#### 産学官連携

##### 産学官の連携促進

- ・人材育成の充実
- ・産学官が連携した研究・開発の促進
- 産学官協働人材育成円卓会議
- 信州産学官ひとづくりコンソーシアム等との連携の充実